

# 庁内ワーキング レポート

生駒駅周辺地区における「居心地が良く歩きたくなるまちなか」(まちなかウォーカブル)の実現を目指し、関係各課の若手・中堅職員が、エリアの回遊性・滞在性の向上に向けた議論を開始しています。

## 令和6年度の協議内容

- ① まちなかウォーカブルに相応しいハード整備・ソフト事業の内容
- ② ①の課題整理と実現可能性の検討
- ③ ②に必要な調査の項目出し、関連情報の共有
- ④ その他関連事業の情報共有(チャレンジショップなど)



▲ ワーキングの様子

## ワーキンググループメンバー

|     |       |       |         |                |                |
|-----|-------|-------|---------|----------------|----------------|
| 建設部 | 管理課   | 安保 亨  | 地域活力創生部 | 商工観光課<br>観光振興室 | 荒木 宏明、<br>南 一樹 |
|     | 事業計画課 | 林 一人  | 都市整備部   | 施設マネジメント課      | 宮脇 隆一          |
|     | 土木課   | 室井 良介 |         | 都市づくり推進課       | 吉田 一平<br>釣本 実里 |

## 第5回 ワーキンググループ 報告

### プログラム

1. 前回までの振り返り
2. アルパック\*からの話題提供
3. 「すべきこと」の優先順位づけ

※今回からコーディネーターとして参加

### 2. アルパックからの話題提供

歩きやすい空間の実現を進めている池田市・茨木市の取組事例の紹介がありました。



▲ 池田市の取組様子

### 3. 「すべきこと」の整理

前回の WG で出た生駒駅南口エリアでの「すべきこと」について、どこから取り組むべきなのかなど、意見を出し合いました。

「駅利用者や地域住民、新たに生駒へ訪れた人々がゆったりとした時間を過ごせる場所があれば」「地域内でお金が循環する仕組みがいりそう」といった意見があり、それに基づき取組を整理しました。

|          | 「空き店舗ゼロ」を目指す                                                                         | 「人通りが多い駅前」を目指す                                                                                                                                                                      | 「滞留空間の整備」を目指す                                                                                                                    | 「魅力ある駅前広場」を目指す                                                                                                                                 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 短期（1～2年） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出店希望者やオーナーと繋がる</li> <li>・出店補助との連携</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・はみ出し営業（道路空間） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 許可基準や規制内容等の検討が必要</li> <li>▶ 今の雰囲気（にじみ出し感）を残せるような手法の検討が必要</li> </ul> </li> </ul>       |                                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と車のバランス <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 人中心に考えすぎると送迎などで市民に不便が生じる恐れがある</li> </ul> </li> </ul> |
|          |                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペDESTリアンデッキの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 人の居場所や設えの実験的な設置の検討が必要</li> <li>▶ 看板や広告物の整理・ケーブルカーとの連続性の検討が必要</li> </ul> </li> </ul> |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                |
|          |                                                                                      |                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチの設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 需要はあるが利用マナーの徹底が必要</li> </ul> </li> </ul> |                                                                                                                                                |
| 中期（3～5年） |                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほこみち制度の導入 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 道路協議・警察協議に時間かかる恐れ</li> <li>▶ 占用料 1 割の負担が必要</li> </ul> </li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備（美装化等）</li> </ul>                                                                    |                                                                                                                                                |
| 長期（5年～）  |                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会実験（常設化に向けて） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 常設化した時の、維持・管理方法</li> <li>▶ 誰が、どのようにコントロールするのか</li> </ul> </li> </ul>                 |                                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の方策・施策として決定</li> </ul>                                                                                |

次回予定：2024 年 10 月 28 日（月）午後

今回は、エリアプラットフォームを設立し、官民連携での駅周辺整備事業等を進めている池田市の視察を予定しています。

視察を通して感じたことなども踏まえ、今後の事業等への反映など、生駒駅前にどのように活かせるのかなども議論していきます。

# 市内ワーキング レポート

第6回は、官民連携まちなか再生推進事業に取り組んでいる池田市への現地視察を行いました。

池田市は、本市同様、エリアプラットフォーム※と連携しながら、阪急池田駅前の整備等を進めており、まちなかを巡りながら事業の説明を受け、生駒駅周辺でどう活用できるかなど、具体的なイメージが持てました。

## エリアプラットフォーム

行政をはじめ、まちづくりの担い手である団体、自治会、商工会議所、住民などが集まって、まちの将来像を描き、その実現に向けた取組について協議・調整を行うための場



▲ 意見交換の様子

## 第6回 ワーキンググループ 報告

### ■ 池田市の官民連携の取組紹介と現地視察

市の担当者やエリアプラットフォーム事務局の方々から、現地で案内いただきながら、各取組の概要や状況などの説明を受けました。

#### ① 菁菁苑

民間主導で長屋をリノベーションし、ギャラリーやカフェなどが出店。

周辺にマンションが立地するなかで、静かな隠れ家的でレトロな雰囲気などが好評で、週末など女性を中心に賑わっているとのこと。



## ② いけだまちなかラボ SUBACO

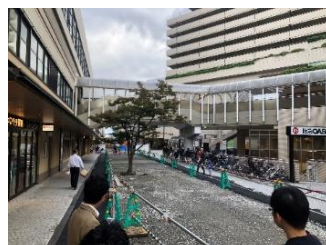
駅まち空間をテーマに市民が交流し“いけだまちづくり「未完成」ビジョン”を共有・更新する場として自治会倉庫を改装して開設。(市有地)  
エリアプラットフォームの事務局だけでなく、まちづくりの相談窓口やレンタルスペースとしても活用。



## ③ 池田駅周辺整備

令和3年度以降、道路空間を活用した“おさんぽマルシェ”など社会実験を実施(写真上段)しながら、その成果をもとに今年度から駅南側のせせらぎモールの再整備が進められている。(写真左下)

阪急電鉄も駅下の商業施設をリニューアルするなど、官民での取り組みが進んでいる。(写真右下)



## 〈質疑応答〉

Q:事業に関わっている民間事業者はどのように巻き込んだのか。

A:市の事業のマーケットサウンディングで話を聞いた企業に声かけし、参画してもらった。

Q:社会実験の道路占用や通行規制などは、協議しようとするハードルが高いと思う。どのように進められたのか。

A:せせらぎモールは自転車歩行者道なので、許可が取りやすいところからはじめた。まず、1日実施して実績をつくり、次に2週間の活用についてといった形で、徐々に活用する期間・範囲を広げていった。車道部分の一方通行解除については警察本部との協議の中で、交通量の調査や沿道地権者の同意、町内会長の了解などを得て進めていった。

Q:車道を止めることで市民からのクレームはなかったか。

A:生活道路を止める意味については庁内でも議論をした。その説明をしながら進めているが、工事期間は、やはり市民からの声は多い。毎回丁寧な対応を心掛けている。

次回予定：2024年11月27日(水) 10時～ 402会議室

## まちなかウォーカブル推進事業 庁内ワーキンググループ

生駒駅周辺地区における「居心地が良く歩きたくなるまちなか」(まちなかウォーカブル)の実現を目指し、関係各課の若手・中堅職員が、エリアの回遊性・滞在性の向上に向けて議論しています。

事務局：都市整備部 都市づくり推進課 拠点形成室

# 市内ワーキング レポート

第7回は、これまでのワーキングで出た取組みのアイデアを改めて整理・共有した後、今後の整備・展開イメージについて議論を行いました。

今後の整備・展開については、大阪ミナミの事例などの説明も踏まえ、「誰のために、どんな空間が必要か」メンバー間で議論しました。

「子育て層が過ごせる工夫ができないか」「駅前道路に停車する送迎車への対応が必要ではないか」など、今後の展開イメージがより明確化されました。



▲ ワーキングの様子

## 第7回 ワーキンググループ 報告

### ■ 取組みのアイデアの共有

これまでのワーキングで出たアイデアを、地図に落とし込み、共有しました。

短期(イメージ)

**④参道筋**

- 参道筋のアピール: 参道筋だったことがわかるイベント・お祭り(復活)
- 看板デザインの統一
- 街路灯整備、すずらん灯の復活
- 地区計画等景観等のルールの検討(1階用途、外装、看板等)
- 参道にふさわしい店舗の出店希望者やオーナーとの繋がりを設ける取組の検討・実施
- 店舗支援事業との連携強化
- 動線の明確化(サイン設置など)



**⑤さくら通り**

- 案内板の設置
- 憩いの空間設置(ベンチ設置などセミパブリック空間の充実)
- さくら通りとびっくり通りとの一体的な取組の実施(イベントなど)
- 出店希望者やオーナーとの繋がりを設ける取組の検討・実施
- 店舗支援事業との連携強化



**①駅前広場**

- 案内サインの設置
- 視点場の検討
- ペDESTリアンデッキの活用
- 交通広場のあり方の検討・検証



**②サウスモール**

- 看板・サインの統一



**③びっくり通り**

- アーケードなどの柱の美装化
- 路面の美装化(舗装の改修)
- アーケードの改修
- 駅からのデッキ(階段)の改良さくら通りとびっくり通りとの一体的な取組の実施(イベントなど)
- 出店希望者やオーナーとの繋がりを設ける取組の検討・実施
- 店舗支援事業との連携強化



## ■ 生駒駅南口エリアのコンセプト

生駒駅南口エリアがどんな駅前空間をめざすべきか、北口エリアとの比較や他市の事例を踏まえ議論しました。

### ① 駅前空間のリノベ・更新

子育て世代に向けた取り組み

→子育てに強いまちを目指すのであれば、子育て層が過ごしやすい施設投資も必要ではないか。子どもと入れる店も限られている。(使いやすい場所があれば遠くても利用する。)

道路動線・交通事業(タクシー・バスなど)

→ロータリーとしてはスペースが限られており、機能更新を図るには駅南・北の一体で考える必要がある。

送迎車

→エリアの南側に送迎用車両スペースを設ければ、商店街を通して駅との間を行き交う動線が生まれるのでは。

### ② 動線・回遊性

対象範囲

→道路幅員が狭いため車で訪れることに抵抗がある市民も多い。駐車場不足の声もあり、市営駐車場の活用促進に期待したい。一方で、車で移動しない市民(車を持たない人や徒歩圏の住民)も対象。

PR

→市民が紹介したいと思うコンテンツやストーリーがあるエリアとして伸ばしていくべき。  
→既存の資源(良い店や宝山寺)は活かし、未発掘の資源(認知が低い店等)を発掘し育てる事が重要では。

## ■ 今後の展開イメージ

- ・官民連携の推進 … 不動産オーナーの意向も様々であり、整理すべき。
- ・社会実験の実施 … 課題・現況を見える化・対外化させるべき。
- ・駅前に求められる将来像の検討 … 車社会前提の機能ではなく、ウォーカブルや次世代交通を踏まえた長期的な視点を持つべき。(ヨーロッパの主要都市では、まちの中心部に車を入れないようになってきている。)車を持たない若者の増加や、将来的な交通需要を踏まえた上で、駅前の交通整備を検討すべき。

次回予定：2024年12月24日(火)13時～ 401会議室

### まちなかウォーカブル推進事業 庁内ワーキンググループ

生駒駅周辺地区における「居心地が良く歩きたくなるまちなか」(まちなかウォーカブル)の実現を目指し、関係各課の若手・中堅職員が、エリアの回遊性・滞在性の向上に向けて議論しています。

事務局：都市整備部 都市づくり推進課 拠点形成室



▲ 具体性がないと単なる“魔法”

2024年12月24日に開催した第8回では、年度内に設置する案内サインについて検討しました。

サイン設置のねらいや基本設計を共有した後は、現地確認を実施。

「誰のために」「どんな情報を」「どのような形態で」伝えるべきか、実寸のサイン案を仮で設置しながら、設置位置やサイズ、掲載情報などについて意見交換を行いました。



▲ 現地確認の様子

## まちなかウォーカブル推進事業 庁内ワーキンググループ

生駒駅周辺地区における「居心地が良く歩きたくなるまちなか」(まちなかウォーカブル)の実現を目指し、関係各課の若手・中堅職員が、エリアの回遊性・滞在性の向上に向けて議論しています。

## 第8回 ワーキンググループ 報告

### ■ サインの考え方

生駒駅南口における案内サインの考え方を整理しました。

#### □利用者(誰に対するサイン?)

・歩行者が対象

そのなかでも、生駒駅前への来訪者を重視

#### □配置

・段層配置(行動の起点を特定し、不特定の終点に向かって配置)  
起点は生駒駅

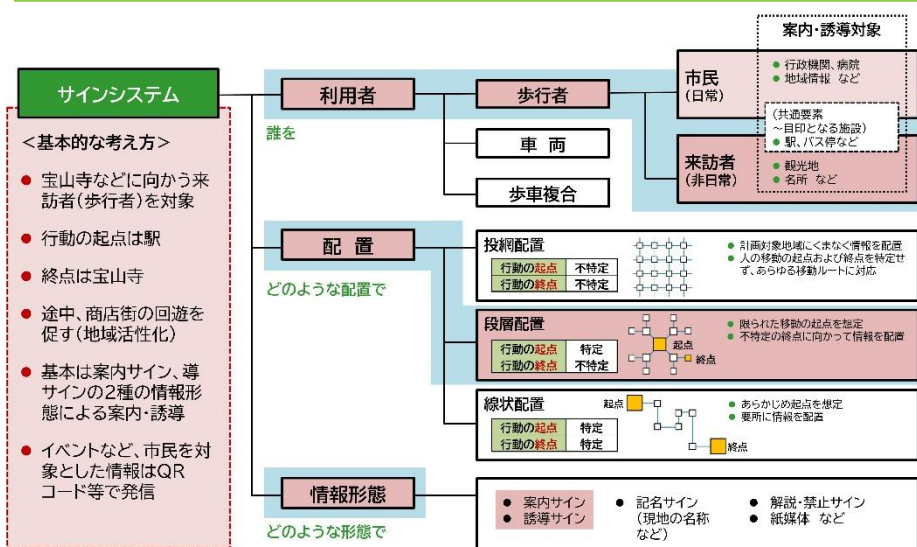
終点は宝山寺、商店街等を想定

#### □情報形態

・案内サイン(地図)と  
誘導サイン(文字情報)

- 誰を対象に情報を提供するか
- どのような配置によって情報を提供するか
- どのような形態で情報を提供するか

- 利用者
- 配置
- 情報形態

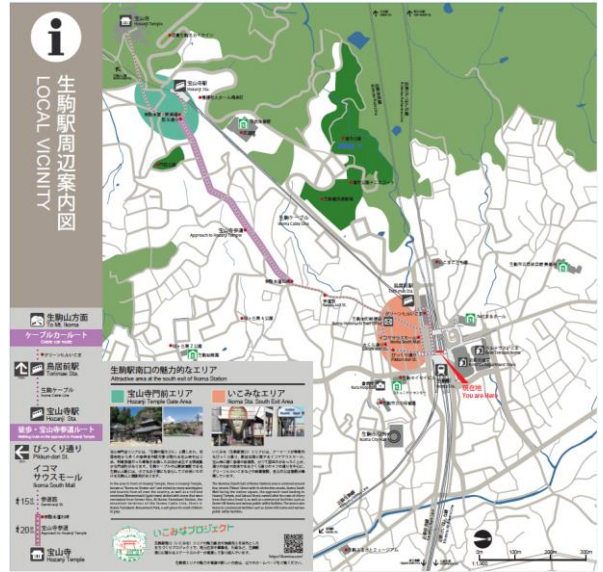


## ■ 現地確認、意見交換

設置目的や設置計画案をもとに、実際に現地を確認しながら、サインの設置場所や見え方、掲載情報等について確認・検討を行いました。



### ▲ 生駒駅前案内サイン(現状)



### ▲ 生駒駅前案内サイン(案)

## ■ メンバーからの意見(抜粋)

## ①案内サインについて

- ・既存の案内サインでも QR コードがプリントされており、そこからアクセスできる観光情報サイトに街の情報が詳しく紹介されているので、新しいサインでも QR コードで飛べるようにしてあったほうが良いのではないかと。
- ・徒歩での所要時間が記載されているなど、駅からのおおよその距離感が分かったほうが良いのではないかと。

## ②歩行者デッキ天井設置の誘導サインについて

- ・新しい案内サイン案は、紫バックに白字でルート名を記載しているが、分かりやすい色彩にしたほうが良い。
- ・トイレやエレベーターなど、別途で設置されている既存サインとの整理も必要。

### ③商店街の柱に設置する誘導サインについて

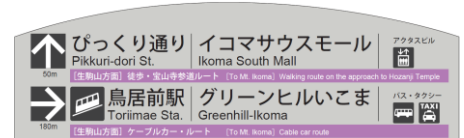
- ・階段などの表現方法は分かりやすいほうが良い。
- ・店舗が出す幟などに支障のない場所や高さに設置したほうが良い。

#### ④参道筋・さくら通りの交差点部の路面サインについて

- ・交差点部で車の交通量も多いので、路上で視線を足元に誘導する路面サインは危険かもしれない。通りや駅の方角だけ掲載するのもありか。



▲ 歩行者デッキ天井の  
誘導サイン(現状)



▲ 歩行者デッキ天井の  
誘導サイン(案)

## <今後の予定>

第9回:1月22日(水)13時~15時 404会議室

公共空間整備についての基本的方針の空間整備戦略やイメージの検討

第10回:2月13日(木)13時30分～15時30分 セイセイビル6階 603 会議室

## チャレンジショップの報告、ウォーカブル勉強会

(特別ゲスト:池田市エリアプラットフォーム、(有)ハートビートプラン園田氏)

第11回:2月28日(金)14時~16時 場所未定

ワーキングでの議論のとりまとめ、次年度以降の進め方検討

# 庁内ワーキング レポート

2025年1月22日に開催した第9回では、第8回で検証した案内サイン設置場所の報告や、生駒駅南口駅前空間の整備戦略やイメージなどについて議論を行いました。

駅前空間については、課題やあるべき姿について触れつつ、整備の方向性として想定される4つのパターン(①ぴっくり通りへのアクセス改善、②グランドレベルの整備、③デッキ拡張、④再開発も含めた大規模整備)を基に、メンバーの知見を出し合いながら意見交換を行いました。



▲ ワーキングの様子

## まちなかウォーカブル推進事業 庁内ワーキンググループ

生駒駅周辺地区における「居心地が良く歩きたくなるまちなか」(まちなかウォーカブル)の実現を目指し、関係各課の若手・中堅職員が、エリアの回遊性・滞在性の向上に向けて議論しています。

## 第9回 ワーキンググループ 報告

### ■ 案内サインの設置について

第8回の現地確認や意見交換を受けて、案内サインの設置位置や設置方法を修正したものをメンバーに共有し、設置に向けた手続きを進めることを確認しました。



▲ 案内サインの設置案

### ■ 生駒駅南口駅前空間の再整備について

まずは、生駒駅南口駅前空間の課題や生駒駅南口エリアの最近の動きをメンバーで共有しつつ、意見交換を行い、以下の様な意見がありました。

#### ① 生駒駅南口駅前空間の課題

- ・生駒駅南口駅前空間は、1日200本以上のバスが発着する交通機能重視の駅前空間
- ・送迎車のスペースが狭いことから路上駐車が多く、県道1車線をふさいでしまう状況が常態化

#### ② まちの変化の兆し

- ・チャレンジショップ「サクラサク」の影響もあってか、「これまで見られなかった層の人が訪れるようになった」との声も

#### ③ 目指す南口駅前空間とKPIの必要性

- ・「人中心の広場」がキーワード
- ・まちの価値向上をどう評価するか KPI の設定が必要



▲ 滞留空間が少ない駅前



▲ 路駐が常態化している駅前の県道

## ■ 4つの整備案と主な意見

| 整備案①<br>商店街方面デッキ整備・改善                                | 整備案②<br>グラウンドレベルの整備・ウォーカブル化                     | 整備案③<br>デッキ拡張整備    | 整備案④<br>グリーンヒルの再々開発・鳥居前駅方面デッキ改善                |
|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------|------------------------------------------------|
| ・びっくり通りに接続するデッキの改善(ダイレクトアクセス)<br>・エレベーターへの動線・アクセスの改善 | ・南口駅前広場の交通機能の再編、再配置<br>・歩行者空間の拡張とサウスモール方面への接続改善 | ・南口交通広場上空にデッキを拡張整備 | ・グリーンヒルいこまの再々開発<br>・連動して鳥居前駅方面のアクセス改善や周辺不動産の更新 |
|                                                      |                                                 |                    |                                                |

### ① 商店街方面デッキ整備・改善

- ・現状でもびっくり通りに行けるので費用対効果が低いのでは？
- ・新たに穴をあけずに、今の階段踊り場から階段を分岐させればコストは抑えられそう。

### ② グラウンドレベルの整備

- ・バス停留所の縮小は難しそうだが、タクシー待機場は余裕があるかも。交通事業者との調整が必要か。
- ・近くに横断歩道があるので、商店街への横断歩道の実現性は低いと思う。
- ・グラウンドレベルに広場を整備したとしても人が集う場になるのかイメージできない。

### ③ デッキ拡張案

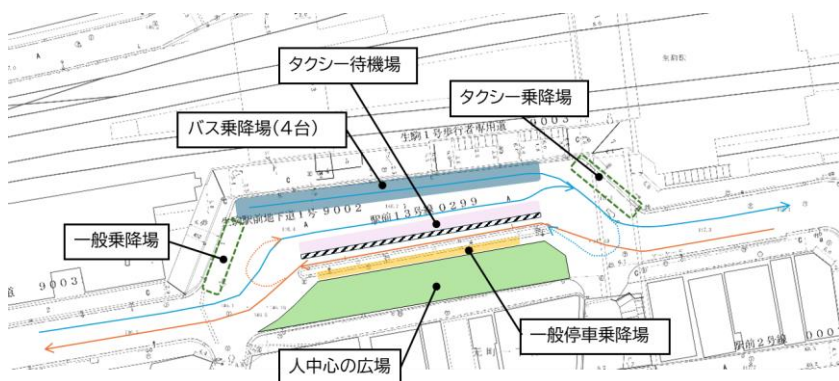
- ・この規模だと、支柱設置やそのための地中調査、近鉄との協議など法的・構造的ハードルはある。
- ・中央改札とびっくり通りを繋ぐデッキを拡張して、生駒山を望める空間ができれば。

### ④ 再開発も含めた大規模整備

- ・駅周辺を一体的に整備でき大幅に魅力が向上するので実現できればいいが、地権者との調整や事業費の高騰など、実現までのハードルは高いと思う。

### その他：意見交換で出た整備案

- ・交通動線を確保しつつ人中心の広場整備が両立できそうな整備案(下図)も可能性があるのでは？



### < 今後の予定 >

第10回：2月13日(木)13時30分～16時 セイセイビル6階 603 会議室

チャレンジショップの報告、ウォーカブル勉強会

(特別ゲスト：池田市エリアプラットフォーム、(有)ハートビートプラン園田氏)

第11回：2月28日(金)14時～16時 市役所 404 会議室

ワーキングでの議論のとりまとめ、次年度以降の進め方検討

事務局：都市整備部 都市づくり推進課 拠点形成室

2025年2月13日に開催した第10回では、ワーキンググループメンバーの所属長にも参加を呼びかけ、松本市や池田市の事例を聴講してもらいました。

生駒駅南口エリアだけでなく、まちづくりに関する官民連携のあり方や今後の取り組みについて考える機会になりました。



## 第10回 ワーキンググループ 報告

### ■ 話題提供① 既成市街地、官民連携によるまちなか再生

講師: 有限会社ハートビートプラン 園田聡

#### 「プレイスメイキング」、まちの価値をどう高めるか

まちでの行動には、通勤や買い物などの「必要活動」、散歩やカフェ利用といった「任意活動」、さらにイベントや交流といった「社会活動」があります。このうち、任意活動や社会活動が活発なまちほど、人々の交流が増え、経済活動も活性化します。そのため、これらの活動を支える公共空間や民間施設のあり方が重要で、どのように活用できるか・活用すべきかを考えることが求められます。

つまり、整備そのものよりも「どのように使われるか」という視点が大切です。従来の都市計画のように、人口増加を前提とした標準的な設計・整備ではなく、既存の施設を活用し、新たな価値を生み出す工夫が必要です。そのためには、住民や関係者の合意形成の仕組みを整え、段階的に取り組みを進めることが重要です。

長野県松本市では、観光業が盛んな一方で、コロナ禍による打撃を受け、市街地の活性化が課題となりました。そこで、三の丸エリアにおいて市民のシビックプライドを活かし、住民参加型のビジョン策定や社会実験を実施。公共空間の規制緩和や資金支援を通じて、地域の主体性を引き出しながら活性化・価値向上を進めています。

愛知県豊田市では、トヨタ自動車の本社があるものの、駅前の賑わい不足が課題でした。そこで、駅前広場の歩行者専用化を打ち出し、社会実験として多様なアクティビティを誘発。トライアンドエラーを重ねつつ、民間事業者の参画や市民ワークショップを繰り返し、段階的に整備を進めています。

#### 生駒市で取り組むべきこと

生駒市でも、市民や事業者の意見・想いを適切に取り入れ、官民の役割分担を明確にしながら、公共空間の活用や社会実験を積み重ねていくことが、魅力的な市街地の再生につながるでしょう。



▲Metoba ピクニックデイ  
日常的に居心地よく憩うことのできる水辺の居場所づくり  
(松本城三の丸エリアプラットフォーム HP より)



▲あそべるとよた DAYS  
9つの広場で管理者チームを組成。広場の活用法の公募・実施・効果測定を実施  
(有限会社ハートビートプラン HP より)

## ■ 話題提供② 阪急池田駅前市街地再生と官民連携

講師：池田市 まちづくり推進監 中川雄司

### 池田駅前の官民連携まちづくりの状況について

池田市は、人口約 10 万人の阪急電鉄の 2 駅(池田、石橋阪大前)を中心に広がるまちです。ダイハツ工業本社やカップヌードルミュージアムなど、地域の重要なランドマークが点在していますが、駅周辺の回遊性が低く、エリアの活性化が課題となっていました。これを受け、駅前活性化に向けた取り組みを進めています。

令和 2 年度からは本格的に官民連携の取り組みを進め、エリアプラットフォームの構築や社会実験を行ってきました。

エリアプラットフォームでは、市民活動団体や地域企業が参加するワークショップが開催され、駅前広場などで実施した社会実験を通じて、地域住民のニーズや課題を把握し、「いけだ駅前未来ビジョン」に反映させました。このビジョンは、行政計画と民間計画の中間的位置づけで、街と自然のつながりを重視したまちづくりを目指しています。

行政では、都市再生整備計画を策定し、駅前広場やコミュニティセンター跡地の活用、公園の再整備など、駅前の再整備や地域拠点の整備を進めており、エリアプラットフォームでは、「おさんぽマルシェ」の開催など賑わいづくりを進めています。併せて、専門家や地域住民の意見を反映させながら取組を進めています。

今後は、官民連携をさらに強化し、地域のニーズに応じた事業を進める予定です。駅前の再整備だけでなく、地域住民が主体的にまちづくりに参加できる仕組みを構築し、ハード整備とソフト事業の相乗効果を創出することが目標です。

このような取り組みを、市の長期的な発展と、より活気のある地域づくりにつなげたいと考えています。



▲「おさんぽマルシェ in IKEDA」  
駅前空間再整備にあわせ、歩いて駅前の楽しさを発見したり、まちの賑わいを日常化させるイベント  
(おさんぽマルシェ in IKEDA の HP より)

## ■ 意見交換(抜粋)

Q:既存の動線をなくさずに整備を進めるためには、こういった観点を考慮して考えていくことが必要ですか？

A:今の動線を維持したまま整備を進めることは、今の交通需要やモードを前提にすると難しいと思います。フリンジパーキングの活用や、駅周辺での循環バスの運行といった施策と連動した整備が必要ではないでしょうか。長期的な計画に目を向けて考えていく必要があると思います。



### <今後の予定>

第 11 回：2025 年 2 月 28 日（金）14 時～16 時 404 会議室

【内容】ワーキングでの議論のとりまとめ、次年度以降の進め方、事業等の共有

事務局：都市整備部 都市づくり推進課 拠点形成室

2025年2月28日に実施した今年度最終回となる第11回では、前回までの整備方針案を踏まえ、将来的な交通モードの変化などを踏まえて議論しました。

前回までに整理した4つの整備案に対し、駅前広場や周辺建物の機能更新、デッキの拡張時の利用方法など、多角的な意見があり、それらの意見を踏まえ事務局で整備案をとりまとめることとなりました。



▲ワーキングの様子

## 第11回 ワーキンググループ 報告

### ■ 整備案に対する意見交換

#### 案① 商店街へのアクセス改善

〈期待する効果〉

- ・駅、商店街へのアクセス改善

〈課題〉

- ・費用対効果が低い
- ・賑わい創出への効果が低い



#### 案② グランドレベルでの整備

〈期待する効果〉

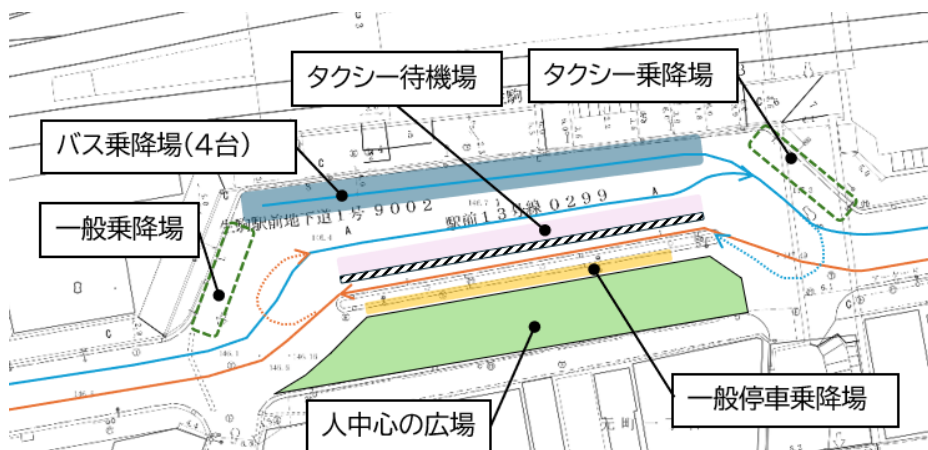
- ・人の滞留空間の確保
- ・乗降場の確保

〈課題〉

- ・広場と駅の動線が悪い

〈今後の検討事項〉

- ・交通機能再編の検証
- ・道路線形の検証
- ・広場の活用方法の検証



### 案③ デッキの広場化

#### 〈期待する効果〉

- ・人の滞留空間の確保  
(駅利用者の待ち合わせなど)

#### 〈課題〉

- ・費用対効果の検証が必要

#### 〈今後の検討事項〉

- ・広場の活用方法の検証
- ・工事に係る課題の整理



### 案④ 周辺も含めた再々開発

#### 〈期待する効果〉

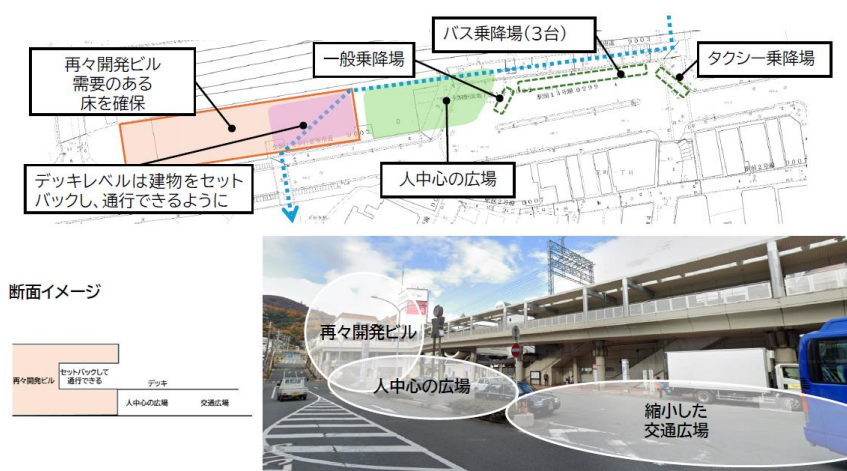
- ・広場空間の確保
- ・鳥居前駅へのアクセス改善

#### 〈課題〉

- ・地権者、関係者の合意形成

#### 〈今後の検討事項〉

- ・地権者等の意向把握



### ■ 今後の検討の方向性

R7年度以降も、4案をベースに必要な社会実験や交通事業者など関係者の意向把握・協議を進めていくことを確認しました。

|      | 整備案①<br>商店街へのアクセス改善                                                                                          | 整備案②<br>グランドレベルでの整備                                                                                     | 整備案③<br>デッキの広場化                                                           | 整備案④<br>周辺も含めた再々開発                                                                                |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 整備内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・びっくり通りに接続するデッキの改善(ダイレクトアクセス)</li> <li>・エレベーターへの動線・アクセスの改善</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南口駅前広場の交通機能の再編、再配置</li> <li>・商店街側に人中心の広場(ウォカブル)を整備する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南口交通広場上空にデッキを拡張整備(駅側案)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺も含めた再々開発</li> <li>・連動して鳥居前駅方面のアクセス改善や周辺ビルの更新</li> </ul> |
| イメージ | <p>商店街へのスムーズなアクセス整備</p>                                                                                      | <p>交通広場機能の縮小<br/>東西の車の動線を全体的に北側に寄せる</p> <p>人中心の広場整備</p>                                                 | <p>人中心の広場整備(デッキレベル)</p>                                                   | <p>市道13号と周辺も含めた市街地再開発事業</p> <p>再々開発ビル</p> <p>交通広場機能の縮小</p> <p>人中心の広場整備</p>                        |

### まちなかウォーカブル推進事業 庁内ワーキンググループ

生駒駅周辺地区における「居心地が良く歩きたくなるまちなか」(まちなかウォーカブル)の実現を目指し、関係課の若手・中堅職員が、エリアの回遊性・滞在性の向上に向けて議論しています。

R7年度も参加者を広げて引き続き議論し、より実現可能性を高めていきます。